



- NB食品メーカーと農業者（現・NPO法人）による「農福商工連携モデル」。カゴメオリジナル品種「爽果」を原料にしたトマトジュースの製造・販売で、知的障害者就労支援事業所を中心に年間延べ150名以上の施設外就労を実現。

## 基本情報

- 所在地：北海道余市町（農園）
- 活動地域：中間農業地域
- 団体名：カゴメ株式会社、特定非営利活動法人どりーむ・わーくす
- 選定表彰：2019年グッドデザイン賞受賞  
(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)
- 主力商品：北海道余市トマトジュース



## 取組の概要

- 平成26年、カゴメ(株)が「北海道余市トマトジュース」の原料となる加工用トマト（爽果）栽培を、農福連携で障がい者の自立支援を目標にする水尻農園に依頼。
- 農繁期の収穫作業には、余市町、仁木町、倶知安町、札幌市の知的障害者就労支援事業所を中心に、年間延べ150名以上が施設外就労。
- 障害者の親の会「札幌市手をつなぐ育成会」や、地元にある「北星学園余市高校」、「リタ幼稚園」、「カゴメ北海道支店」などと連携して、「定植体験会」（6月）、「収穫体験会」（9月）を開催。



定植体験会



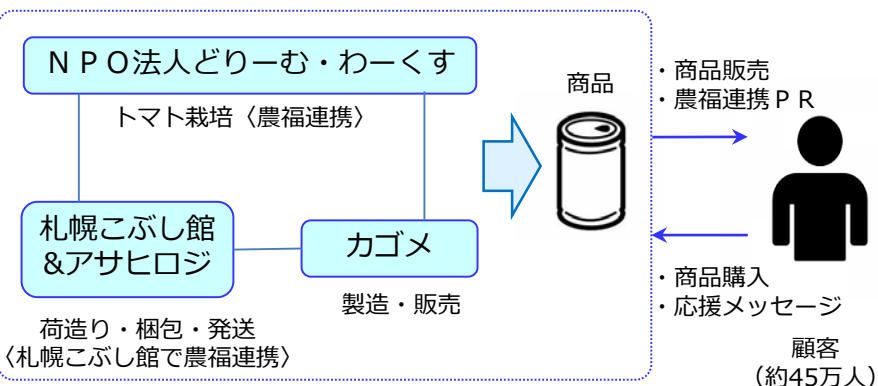
収穫体験会



商品



## 体制図



## 取組の成果

- 徹底した作業の細分化、作業ルールのシンプル化、安全への配慮により、障害者の作業範囲を拡大させ、障害者の戦力化を実現。
- 新たに、施設外就労の機会を創出し、町内外の養護学校から、農福連携での就労を目指して校外実習を希望する生徒も受入れ。
- 「顧客アンケート」で高評価（活動への共感92%、継続購入意向62%）。

所在地 ▶ 東京都中央区日本橋浜町3丁目21番1号日本橋浜町Fタワー  
 連絡先 ▶ TEL : 03-5623-8501 E-mail : Masakazu\_Era@kagome.co.jp  
 ウェブサイト ▶ <https://shop.kagome.co.jp/nouen/>

# 【取組のプロセス】

本州では難しかったトマトの新品種「爽果」の栽培を北海道で出来ないか模索

～2014年

**きっかけ**

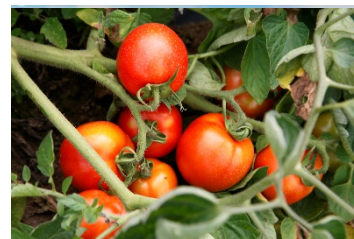
カゴメが10年の歳月をかけて開発した特別なオリジナルトマト品種「爽果（さやか）」の実験栽培を、農福連携で障害者の自立支援を目標にする水尻農園（現：特定非営利活動法人どりーむ・わーくす）に依頼

トマトの収穫に延べ55人が従事。約3トン収穫

2014年～

**カゴメオリジナル品種「爽果」実証栽培開始**

- 平成26年「爽果」を原料にしたトマトジュースの製造とカゴメ「農園応援ブランド」※での販売、障害者の就労機会の創出、町、JA、教育機関等との連携を目的に実施。
- ※「農園応援ブランド」とは、カゴメ社員が全国各地で出会った、未来に受け継ぎたい地域農産物を販売。地域生産者と日本の消費者を繋ぐことで地域農業の活性化や関係人口の拡大に貢献



年間延べ200人以上の障害者および家族・施設スタッフが農作業に参加

2016年～

**農福商工連携を実現した「北海道余市トマトジュース」販売開始**

- 平成28年、カゴメ健康直送便顧客約45万人へ案内。「通信販売」のみの限定商品とし、カゴメトマトジュースの中でも高単価な商品にもかかわらず、毎年早期完売。
- 商品の化粧箱には余市町の風景（シリバ岬や果樹園）をモチーフにデザイン※。
- ※北海道在住のデザイナーに商品パッケージや化粧箱のデザインを依頼。



農山漁村振興交付金を活用し、トイレ・休憩所を整備し作業環境の快適化を実現。

2017年～

**トマト栽培から、商品の荷造り梱包まで福祉との連携を拡大**

- 平成29年、「北海道余市トマトジュース」の荷造り梱包作業を札幌市の就労移行支援事業所社会福祉法人朔風 札幌市こぶし館に業務委託。



今後の展望

**『農福連携』による障害者・町・地域農業・JAのWIN 4の実現**

- 障害者及びその家族・関係者と地域住民に対して、自立継続支援及び協業に関する事業により、障害者の尊厳を保持しつつ生きがいのある自立した生活の実現、並びに地域の活性化に寄与する。

